

神戸市感染症発生動向調査週報 … 第25週 (令和6年6月17日～令和6年6月23日)

2024/06/26作成

神戸市感染症情報センター

インフルエンザ・新型コロナウイルス (設置定点数:48/報告定点数:48 … 東灘区: 6 灘区: 3 中央区: 3 兵庫区: 3 北区: 8 長田区: 3 須磨区: 6 垂水区: 8 西区: 8)

疾病名称	前週比	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	80歳以上
インフルエンザ	↑	0	0	0	0	3	0	0	1	0	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0
新型コロナウイルス(COVID-19)	↑	5	14	10	5	25	18	18	12	17	124	2	5	3	1	3	0	0	0	2	1	2	13	18	7	12	16	19	9	9	2

小児科 (設置定点数:31/報告定点数:31 … 東灘区: 4 灘区: 2 中央区: 2 兵庫区: 2 北区: 5 長田区: 2 須磨区: 4 垂水区: 5 西区: 5)

疾病名称	前週比	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳以上
RSウイルス感染症	↓	0	0	0	0	3	0	4	9	4	20	2	5	5	2	2	3	0	0	0	0	0	1	0	0
咽頭結膜熱	↓	0	0	0	0	6	0	1	3	3	13	0	1	5	2	1	0	1	1	1	0	0	0	0	1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓	8	10	8	2	44	1	6	12	13	104	0	1	4	9	7	19	11	14	5	5	5	16	2	6
感染性胃腸炎	↓	4	1	4	16	69	8	22	39	8	171	4	11	28	15	18	19	9	12	7	10	8	17	4	9
水痘	↑	1	0	0	1	0	0	2	0	3	7	0	0	1	1	0	0	1	1	1	0	1	1	0	0
手足口病	↑	58	5	24	18	129	20	34	87	57	432	2	33	133	90	63	54	37	8	1	4	4	1	0	2
伝染性紅斑	↑	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
突発性発しん	↑	3	0	0	0	2	0	1	1	0	7	0	1	4	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	↑	17	0	2	0	4	2	6	3	4	38	0	2	7	7	6	8	4	0	0	2	1	0	0	1
流行性耳下腺炎	↑	0	0	0	0	2	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0

眼科 (設置定点数:10/報告定点数:10 … 東灘区: 1 灘区: 1 中央区: 1 兵庫区: 1 北区: 1 長田区: 1 須磨区: 1 垂水区: 1 西区: 2)

疾病名称	前週比	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	70歳以上
急性出血性結膜炎	→	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	↑	1	2	1	0	7	1	1	2	0	15	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3	6	1	1	0	1

インフルエンザ定点医療機関から報告された迅速キット陽性情報(※A型およびB型とは、重感染、混合感染患者の数)

※前週比とは定点あたりの報告数を比較し、今週の定点あたりの報告数の増減をあらわしたものです。

A型	B型	A型およびB型 ※
4	0	0

〈基幹定点(設置定点数3)からの報告〉
 ○インフルエンザによる入院2例
 ○新型コロナウイルス感染症による入院16例

定点医療機関からの新型コロナウイルス感染症患者報告数は、先週105人(2.19/定点)から今週124人(2.58/定点)対先週比1.18倍、インフルエンザは先週2人(0.04/定点)から今週4人(0.08/定点)対先週比2倍。手足口病は先週335人(10.81/定点)からさらに増加し、今週432人(13.94/定点)対先週比1.29倍となり、引き続き警報レベルを超えています。一方で今週も劇症型溶血性レンサ球菌感染症の報告が1人あり、昨年1年間の報告数(15人)と同数となりました。厚生労働省からは6月21日付で、劇症型溶血性レンサ球菌感染症(STSS)についての通知文が発出されています。神戸市感染症統合情報システムトップページの最下段、感染症に関する資料(医療機関向け)に掲載しておりますのでご確認ください。参考:厚生労働省ホームページ:劇症型溶血性レンサ球菌感染症(STSS) https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000137555_00003.html

〈定点医療機関からの報告〉

東灘区 ○ノロウイルス感染症2例:1歳男,3歳男 ○ヒトメタニューモウイルス感染症1例:1歳女/
 中央区 ○アデノウイルス感染症4例:1歳男2例,1歳女,3歳女 ○マイコプラズマ感染症2例:9歳女,14歳女/
 北区 ○マイコプラズマ感染症3例:9歳男,9歳女,10歳男 ○アデノウイルス扁桃炎4例:0歳男,1歳女,2歳男,6歳男 ○アデノウイルス腸炎1例:3歳男/
 須磨区 ○ヘルパンギーナ1例:13歳女

〈基幹定点(設置定点数3)からの報告〉 0例

全数報告 報告明細(2024/6/17~2024/6/23)

No	性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病名	病型	診断方法(検査方法)	症状	推定感染原因	備考
1	男	60代	2024/6/11	2024/6/14	2024/6/19	日本紅斑熱	—	検体から直接のPCR法による病原体遺伝子の検出(血液・痂皮)	発熱、刺し口、発疹、DIC、肝機能異常	動物・蚊・昆虫等からの感染	山の近くに居住
2	男	70代	2024/6/10	2024/6/10	2024/6/13	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	—	分離・同定による腸内細菌目細菌の検出及び分離金の薬剤耐性の確認(血液、胆汁)	菌血症、敗血症、胆嚢炎、胆管炎	不明	
3	男	80歳以上	2024/6/6	2024/6/7	2024/6/14	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	—	分離・同定による腸内細菌目細菌の検出及び分離金の薬剤耐性の確認(尿)	尿路感染症	以前からの保菌(尿路系)	
4	男	0-4歳	2024/6/14	2024/6/14	2024/6/15	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。)	エンテロウイルス	臨床診断 ・38度以上の高熱 ・何らかの中中枢神経症状 ・先行感染症状	発熱、痙攣、意識障害	不明	
5	男	80歳以上	2024/6/19	2024/6/19	2024/6/19	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	A群	分離・同定による病原体の検出(血液)	ショック、急性呼吸窮迫症候群、軟部組織炎	創傷感染(右下腿疑い)	
6	女	80歳以上	2024/6/16	2024/6/16	2024/6/19	侵襲性インフルエンザ菌感染症	—	分離・同定による病原体の検出(血液)	発熱、意識障害、ショック	不明	
7	男	60代	2024/6/17	2024/6/17	2024/6/18	侵襲性肺炎球菌感染症	—	分離・同定による病原体の検出(血液)	発熱、腰痛	不明	
8	女	70代	2024/6/14	2024/6/15	2024/6/18	侵襲性肺炎球菌感染症	—	分離・同定による病原体の検出(血液)	発熱、咳、全身倦怠感、肺炎	不明	
9	女	10代	2024/6月初旬	2024/6/18	2024/6/18	梅毒	早期顕症梅毒Ⅱ期	抗体検査による血清抗体の検出	梅毒性バラ疹	異性間性的接触	性風俗産業の従事歴:無、利用歴:無

2024年度第25週の結核届出患者数は10名(うち潜在結核感染症4名)です。

病原体検出状況 - 集計データ(病原体分離・検出情報)・・・ 第25週 (令和6年6月17日～令和6年6月23日)

病原体	検体	届出区	性別	年齢	検体採取日	発熱温度	診断名	備考
S. pyogenes	咽頭ぬぐい液	垂水区	女	5～9歳	2024/05/30	-	A群溶血性レンサ球菌 感染症	TUT型
コクサッキーウイルスA6型	咽頭ぬぐい液	垂水区	男	0～4歳	2024/06/17	38	手足口病	ライノウイルスA58型との重 複感染
コクサッキーウイルスA6型	鼻腔ぬぐい液	中央区	男	0～4歳	2024/06/10	39.1	咽頭炎	ライノウイルスA58型との重 複感染
ライノウイルス	咽頭ぬぐい液	垂水区	男	0～4歳	2024/06/17	38	手足口病	A58型。コクサッキーウイル スA6型との重複感染
ライノウイルス	咽頭ぬぐい液	兵庫区	男	0～4歳	2024/06/17	なし	手足口病	A38型。
ライノウイルス	鼻腔ぬぐい液	中央区	男	0～4歳	2024/06/10	39.1	咽頭炎	A58型。コクサッキーウイル スA6型との重複感染